

Creating robust, people-friendly cities around the world.

世界が多岐にわたる環境・社会課題に直面するなか、日エグループの持続的な企業価値の向上には社会・環境価値の創造が欠かせないと考えています。ステークホルダーの皆様との継続的な対話を通じて、日エグループのビジョンである「世界を、強くやさしい街に。」の実現を目指します。

■ 日エグループサステナビリティ基本方針 ■

社会に対する責任

- ●持続可能な社会を実現するため、人権の保護を支持、尊重し企業倫理を高め、バリューチェーン全体で共有するとともに公正な事業活動を実践します。
- 新しい働き方を推進し、多様性に富み、健康的で安全・安心かつ働きがいのある職場づくりを実践します。
- ●市場のリーダーとしての役割を認識し、提供する製品やサービス&ソリューションを通じて、豊かな未来とレジリエントな 社会の実現に貢献します。

地球環境に対する責任

● 脱炭素経済への移行を促進し、資源循環の効率化と汚染防止に努め、生物多様性の保全に寄与すべく、地球環境の未来に対する責任ある企業として行動します。

■ サステナビリティ推進体制 ■

当社グループのサステナビリティに関する議論を集約、コンプライアンス・リスク管理委員会と連携し、実行の質・スピードをさらに高めることを目的として、サステナビリティ委員会を2023年6月に設置しました。

サステナビリティ委員会は委員長を取締役経営企画部長と し、委員は、コンプライアンス・リスク管理委員会委員長で 財務・人事を統括する取締役副社長を含む経営層4名で構成、 当社のサステナビリティに関する課題を議論し、取締役会に報告・提案を行ないます。事務局の要員は、委員長および委員が統括する部署に所属する5名で、委員会は原則として、年4回開催します。

サステナビリティ委員会での役割、機能としては、以下を 定めています。

役割

- 1. 長期ビジョンの実現に向けたマテリアリティの特定
- 2. マテリアリティのリスク・機会の特定、進捗管理方法(指標と目標)の明示
- 3. 長期ビジョンからバックキャストした中期経営計画の叩き台づくり
- 4. ステークホルダーへの価値提供に向けた体制整備
- 5. コンプライアンス・リスク委員会との連携

機能

- 1. サステナビリティ基本方針の策定
- 2. 人権方針の策定、人権DDの実施
- 3. 腐敗防止 (企業倫理) 方針の策定
- 4. 方針に基づいた啓発活動の推進
- 5. 環境方針(脱炭素・資源循環・水資源・生物多様性保全)の策定
- 6. サプライチェーンへの適用(調達ガイドラインの策定)
- 7. 人的資本の拡充(エンゲージメント・多様性・ライフサポート・健康と安全衛生)
- 8. ステークホルダーとの対話

サステナビリティ推進体制

取締役会

提案・報告

サステナビリティ委員会

委員長:取締役経営企画部長

委 員:経営層

コンプライアンス・リスク管理委員会

委員長:副社長(管理本部長)

委 員:経営層

提案・報告

■ サステナビリティ委員会と他の委員会・タスクフォースとの連携状況 ■

サステナビリティ委員会の委員5名は、それぞれ以下の役 割を担っており、サステナビリティ委員会において相互連携 を図っています。

サステナビリティ委員会の構成員

- •川上 晃一(委員長) 経営企画·DX·安全衛生
- 藤井 博 財務・人事・コンプライアンス・リスク管理 (委員長)
- 中山 知巳 営業・海外事業
- 山田 和寛 製造・調達
- ●川村 克裕 開発・GX (脱炭素)

■マテリアリティの抽出・特定 ■

日エグループは2030年ビジョンの策定にともない、に 伴い、持続的に企業価値創造するためのマテリアリティを 2022年に見直しました。経営理念に掲げる「広く社会から 信頼され、お客様とともに発展する"ソリューションパート ナー"となることを使命に自己変革する」ことを念頭にして、 マテリアリティを解決することが、2030年ビジョンの達成 につながると考えています。以下の4つのマテリアリティに おいてKPI(最重要業績評価指標)を設定して、実効性を高

めると同時に、取締役会でのモニタリングを強化します。

日エグループのマテリアリティ

	梦熙
カーボンニュートラルの実現	P58
資源循環型社会の確立	P63
●新たな顧客価値の創造	P65
人材育成と働きがいの向上	P67

日エグループのサステナビリティ経営

VISION 〈実現したい未来〉

世界を、強くやさしい街に。

日エグループの4つマテリアリティ

カーボンニュートラル の実現

資源循環型社会 の確立

新たな 顧客価値の創造

人材育成と 働きがいの向上

VALUE 〈提供価値〉

MISSION

〈日工が日々果たすべき使命〉

一歩先ゆく エンジニアリングから、 社会基盤をアップデートする。

SPIRIT 〈大切にすべき精神〉

日エグループが取り組む3つのサステナビリティ課題

国土強靭化

2 自然環境との調和 3 豊かな社会づくり

基本理念 (創業時から変わらぬ価値観)

企業を通じて

誠実と責任感を持って) 「 創意工夫改善に努め 社会に奉仕する。 繁栄に邁進する。 し 適正利潤を上げる。

ステークホルダーエンゲージメント

サステナビリティと経営基盤

取引先様

日エグループの事業はステークホルダーとの信頼の上に成り立っています。事業を通じて社会課題を解決し、 企業価値を高めるためには、あらゆるステークホルダーとの積極的な対話を行なうことが重要であると考えてい ます。日エグループが目指す方向や価値創出の道筋に共感を得てステークホルダーの理解をもとに、社会の持 続可能性に貢献するとともに企業として持続的成長の実現を目指します。

■ ステークホルダーとの価値共創

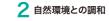


日エグループが取り組む3つのサステナビリティ課題



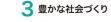


- 自然災害からの早期復興 激甚化災害への対応
- 事業継続マネジメントの整備 防災・減災、老朽インフラ対応





- ●脱炭素社会
- ●資源循環型社会 ●水資源 •生物多様性







- 従業員エンゲージメントの向上
- ●取引先様との協働 ・地域社会との共生





ステークホルダーとの関係と主な対話チャネル

	ステークホルダーとの関係	ステークホルダーの主な関心事	主な対話チャネル
お客様	日エグループは製品と サービスの提供を通じ てお客様の業務拡大と 生産性の向上に寄与し ています。同時にお客様 とともに社会基盤整備 を通じて豊かな社会づ くりに貢献しています。	高性能・高品質製品の提供安心安全を提供するサービス体制適正な価格設定課題解決に向けた提案力技術革新へ対応自然災害からの早期復興	 日常の営業・サービス活動 各種展示会(2022日エメッセの開催、2022NEW環境展への出展) プラントオペレータ研修の提供 機関誌(NAP NEWS、BP EYESの編集・発行) Nikkoウェブサイト(One Nikko Platform)
企業員	すべての従業員は最もます。事業を取りを変化に素単す。事業をした。事業をした。のでは、大材をは、大材をは、大材をは、大材をは、大材をは、大材をは、大材をは、大材を	 労働における基本的権利の 尊重 成長と自己実現の機会提供 公平な機会と公正な評価 心理的安全性の高い職場づくり 安全操業の徹底と自然環境への配慮 仕事と生活の両立 多様性の確保と働き方の選択肢 	 社長と社員グループの直接対話 イントラネット 社内報 (トンボ) 目標設定・進捗確認、評価フィードバック 英語・特別技能研修、自律選択型啓発セミナー 業務効率改善運動 内部通報制度 譲渡制限付株式付与

55 Nikko Corporate Report 2023 Nikko Corporate Report 2023 56